

SUBARI
DAM

すばり
素波里ダム



秋田県

素波里ダムの歴史

素波里ダムは、昭和38年7月に藤里町をおそった大きな洪水被害をきっかけにして、粕毛川の上流部、素波里峡（すばりきょう）にけんせつされたダムです。

けんせつ工事は昭和42年から始まり、昭和45年に完成しました。かかったお金は19億6千万円です。

ダムから4キロメートルおく（素波里園地のあたりです）に大開（おおびらき）という15軒ぐらいの集落がありました。ダムのけんせつにより水にしずんでしまったため、集落全て移転しました。



ダムができる前の写真です。昔は道路がなく、川ぞいに森林鉄道がとっていました。

素波里ダムの大さきさ

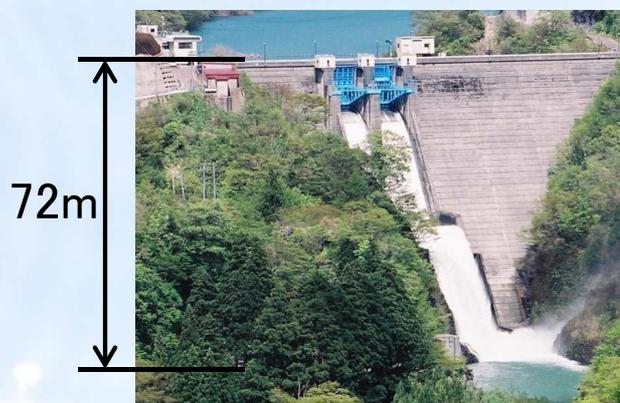
ダムの長さは142m



ダムのたかさは72m

秋田県内のダムでは
4番目にたかいダムです

- 1位 玉川ダム 100m
- 2位 森吉山ダム 90m
- 3位 砂子沢ダム 79m
- 4位 **素波里ダム 72m**



ダムにためられる水の量は

4250万立方メートル（東京ドーム約34個分の量）

ダム湖（素波里湖）の広さは

1. 9平方キロメートル（東京ドーム約41個分の広さ）

素波里ダムのかくわり

素波里ダムは、大きく分けて3つのかくわりがあります。

1. 粕毛川、藤琴川のはんらんをふせいでいます。



大雨がふると、川から水があふれ、道路や田んぼが水にうまったり、家や橋が流されたりします。



大雨がふっても、川から水があふれないように、ダムに水をためます。ダムにたまった水は少しづつ川に流します。

素波里ダムのやくわり

2. 田んぼや畑に使う水を流しています。



雨がふらない日がしばらくつづく、川の水が少なくなってしまいます。すると田んぼや畑に水をあたえることができなくなってしまい、お米や野菜がとれなくなってしまいます。



ダムに水をためることにより長い間雨がふらなくても、安定した量の水を田んぼや畑におくことができます。素波里ダムの水は、藤里町だけでなく能代市、八峰町、三種町の田んぼや畑に使われています。

3. 電気をつくっています。



素波里発電所

ダムにためた水の力を利用して、発電機の水車をまわして電気をつくっています。発電所はダムのすぐ下にあります。

素波里ダム管理事務所のしごと

素波里ダム管理事務所では、川のはんらんをふせいだり、たいせつな水をかくほするため、つぎのようなしごとをしています

1. 水のちょうせつ

大雨がふったときは、ゲートをあけたりしめたりして、川があふれないようにダムから流す水の量をちょうせつしています。

ダムから水を流すときは、サイレンや放送でお知らせします。このときは川の水がふえるので、ぜったいに川に近づいてはいけません。

ダムから水を流すときは、川に人がいないかをかくにんするため、パトロールをしています。

2. てんけん、しゅう理

ダムやダムの機械がこわれないように、しゅうりしたり、こわれたものを直しています。

3. 水しつのけんさ

水のごりなどをかくにんするため、水しつのけんさをしています。

4. じょうほう管理

天気じょうほうや、水温や気温、山にふった雨の量、ダムに入ってくる水の量など、いろんなじょうほうを管理しています。特に天気のじょうほうはつねに気をくばっています。



ゲートのでんけん



水しつのけんさ
船に乗ってけんさします

藤里町タウンマップ



素波里ダム管理事務所
〒018-3205

やまもとくんふじさとまちかすげあざかせないざわこくゆうりん
山本郡藤里町粕毛字鹿瀬内沢国有林
電話: 0185-79-1101